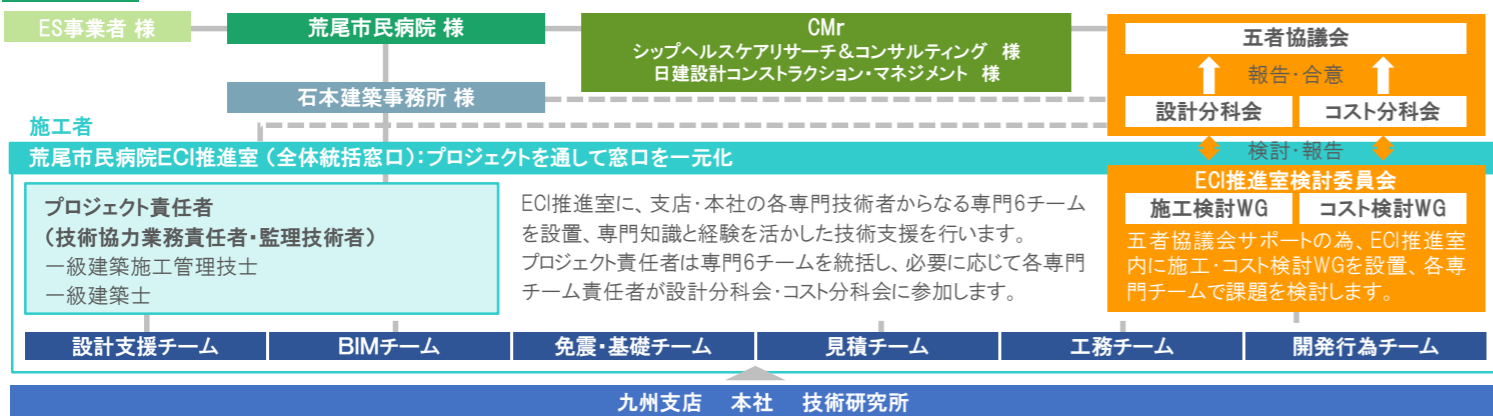


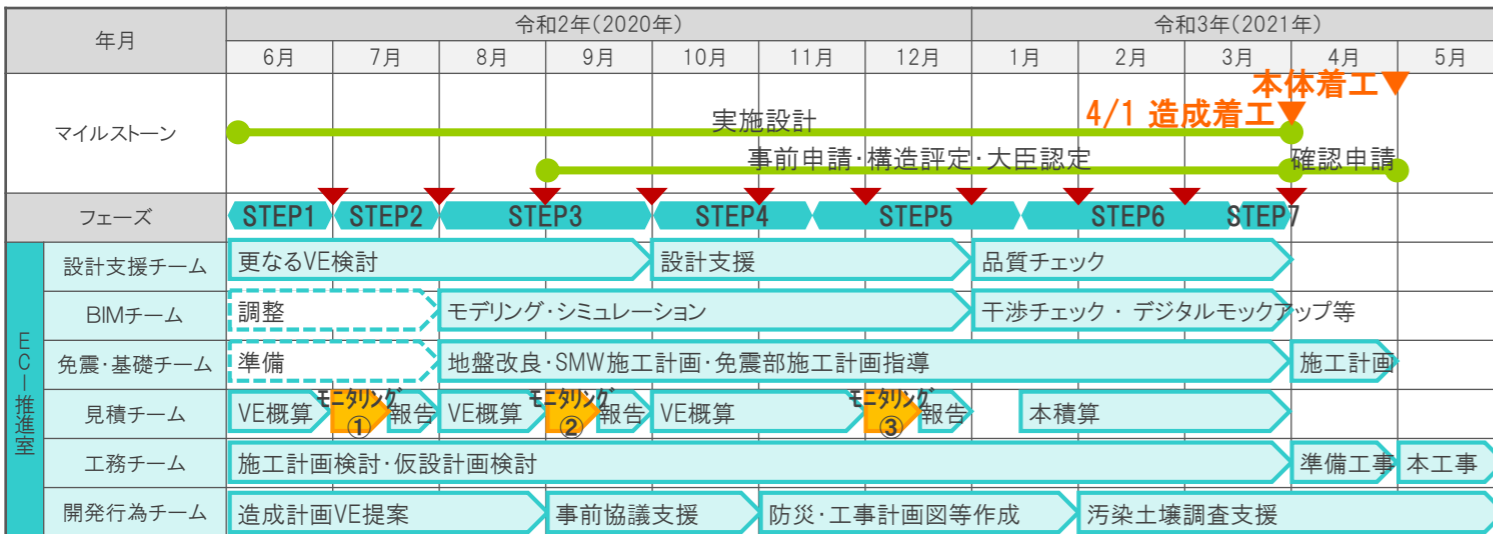
ア. 実施設計段階の実施方針

提案1 ECI推進室を立上げ窓口を一本化、プロジェクト責任者が全ての業務フロー管理を統括します



提案2 実施設計中に10回の五者協議会を開催し、ステップごとに重要項目の確認と課題の解決を行い、次工程に進みます

▼: 五者協議会メンバー: 荒尾市民病院様、設計者様、CMr様、ES事業者様、施工者



提案3 感染症流行時に感染症対応病棟へ転用可能な施設計画を提案します

感染症流行時に5階病棟を感染症対応病棟とする設備をご提案します。

- ① 感染症対応専用EVを1基追加
専用エレベーターを1基追加することをご提案します。外部から直接アクセス可能な位置にエレベーターを設け、一般の患者様と接触することがなく病棟へアクセス可能な計画とします。
- ② 独立した設備計画
5階の排水系統を一般系統から感染系統へ変更します。5階の排気設備をHEPAフィルター付きとし、空調設備をクリーンルーム用エアコンに変更します。室内の循環回数を12回以上確保します。排気は屋上で開放します。



提案4 ZEB認証(第三者認証)を取得します

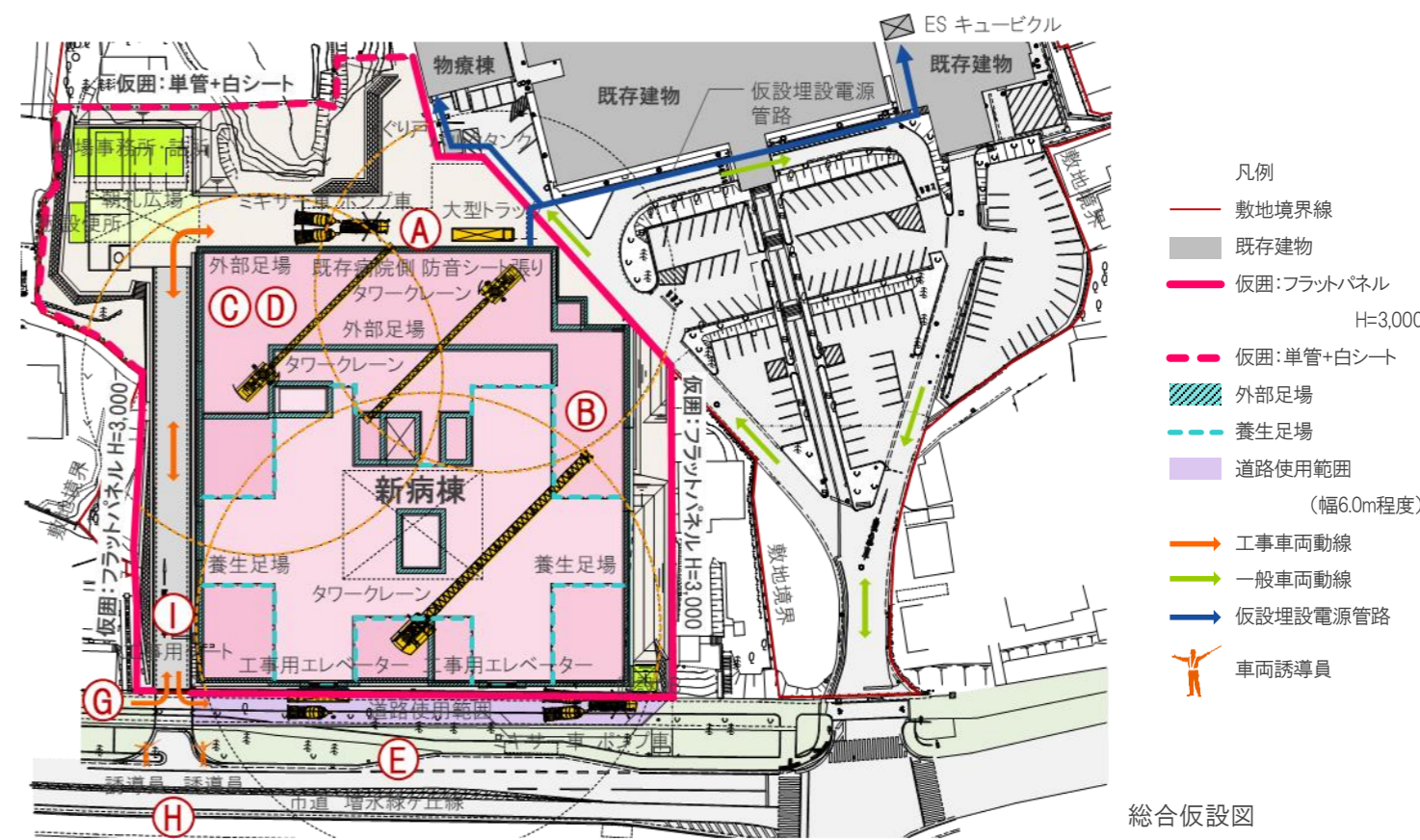
本社のZEB推進室による対応実績・ノウハウをもとに、設計者様、ES事業者様と協働し、ZEB認証取得に取り組みます。具体的な省エネ提案を行い、建築工事部分で一次エネルギー消費量31%削減、ZEB Oriented を取得します。また、更なる提案としてES事業者様と連携しながらエネルギーサービスにて、コージェネ等計画がある場合、更に、ZEB Readyの第三者認証を目指します。

イ. 施工段階の実施方針

提案1 騒音・振動・安全に配慮した施工計画を行い実施します

新技術を積極的に採用し病院様の施設運用に応じた対策を行うことで、作業に伴う騒音・振動の発生を抑制し、隣接する既設病院、周辺住民の安全を確保します。

- ① 運用中の既設病院等に近い箇所では騒音の発生が懸念されるコンクリート打設・型枠解体・既設病院の解体作業などは、騒音シミュレーション技術を活用し、効果を事前に確認してから病院様の診察、手術等を考慮して重層的な対策を実施します。
- ② バルコニー等のPC化により、型枠解体などの作業騒音・振動を低減すると共に、運搬車両台数を削減します。
- ③ 地上階柱鉄筋及び、梁配筋への地組工法の採用により、現場作業を低減することで、騒音・振動発生時間を短縮します。
- ④ 型枠支保工に早期解体工法を採用することにより、支保工材を削減し現場作業量を低減することで、騒音・振動発生時間を短縮すると共に、運搬車両台数を削減します。
- ⑤ 新築工事の工事車両動線は、南側道路の出入口のみ使用することで緊急車両、病院関係者・病院利用者車両との動線を分離し、安全な動線計画とします。
- ⑥ 現場外に駐車場兼作業場所を確保し、工事現場周辺の車両の集中を防止し、周囲の交通量を減らします。
- ⑦ 現場へは左折入退場とし、入場時は側道から入場することで前面道路の交通を妨げずに円滑な入退場を行います。
- ⑧ 現場出入口には車両台数に応じて複数の交通誘導員を配置し、バス停利用者・高校生生徒等の通行の安全を確保します。
- ⑨ 現場出入口には音声案内付センサー・フライト・カーブミラー・電光表示板等を設置し、工事車両の出入りを一般車両・歩行者にお知らせし、注意喚起を行います。



提案2 現場見学会、専用ホームページの開設等により工事情報を市民の皆様幅広く公開します

- ① 病院関係者様、市民の皆様への現場見学会の開催
新病院の開設を市民に知っていただき、関心を高めていただく一環として市民を対象とした現場見学会を開催いたします。
- ② 専用ホームページの開設と情報コーナーの設置
現場専用のホームページ(以下「HP」)を開設し、主に最新工事情報を市民に提供します。仮囲い上部にWEBカメラを設置し、HP上からリアルタイム画像を公開することで、透明性のある現場運営を心がけます。WEBカメラ映像にアクセスするQRコードを仮囲いに掲示し、気軽にスマホからのアクセスも可能とします。HPを活用したWEB見学会の開催も想定しています。仮囲いや、荒尾市様、病院様の了解のもと、市役所や病院内の一角に情報コーナーを設け、同様の工事情報を開示します。
- ③ 仮囲いへの掲載
近隣の教育機関から病院に対する期待などの絵や文などを募集したものを定期的に仮囲いに掲載させていただき、地域から親しみやすい現場とします。
- ④ 広報への掲載
「広報あらお」に定期的に現場状況の掲載をお願いします。



イ. 施工段階の実施方針

提案3 解体工事期間中の駐車場の一部先行仮使用と専用仮設通路による利便性向上

解体工事期間中は病院職員、病院利用者等が使用できる駐車場が少なく、利用できる駐車場の一部は、工事車両が通行する東側の敷地外道路を歩いて大回りで行く必要があります。

既設病院解体工事に先立ち、敷地西側に新病院から職員駐車場までの病院職員専用通路を設けます。また、既設病院の西側を先行して解体し、駐車場の一部を先行して2024年4月に仮使用で利用頂けます。これらにより、病院関係者の利便性向上を図ると共に、安全性も向上します。



病院関係者専用仮設通路 イメージ



提案4 感染症(新型コロナウイルス)への現場対応

①作業員動線の分離

病院利用者様と施工者職員・作業員の動線を分離します。作業員が稼働中の病院エリアに入ることはなく、**施工関係者駐車場を別敷地に設け**分離を徹底します。

②日々の管理方法

体調確認表を用い、施工者職員・作業員の体調管理を徹底します。現場入場時は非接触型体温計での体温測定とサーモグラフィによる二重管理を行います。作業員の休憩所は面積、換気を十分確保します。

③緊急時の対応

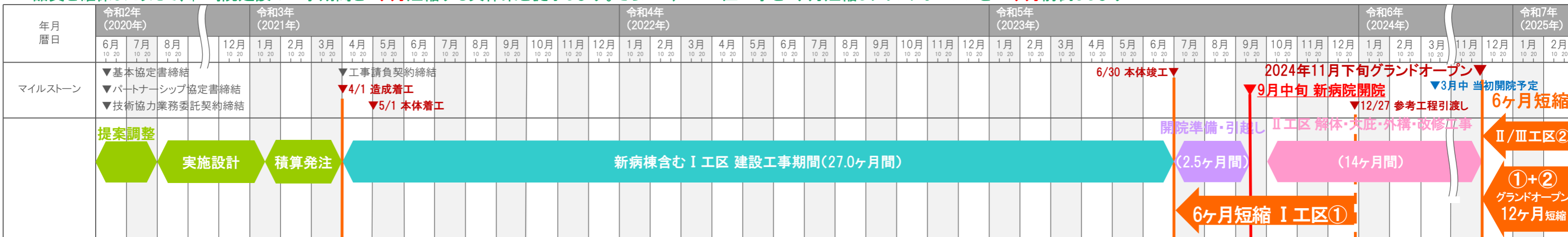
本社・支店に**新型コロナウイルス対策本部を設置**しています。万が一感染者が出た場合の**対応フローも確立**し、本社・支店からのバックアップを行います。作業所には適切なネットワーク環境を整備し、**WEB会議やPCへのリモート操作が可能**な万全の体制とし、病院様方との**WEB会議対応が可能**です。



サーモグラフィ イメージ

ウ. 工期短縮の提案

品質を確保したうえで、新病院建設の工事期間を**6ヶ月短縮**する具体案を提示します。さらに**Ⅱ／Ⅲ工区**工事を**6ヶ月短縮**し**グランドオープン**を**12ヶ月前倒**します



STEP1: 令和3年4月上旬頃
準備工事: 仮囲い・既存駐車場解体・前面道路側ゲート作成



STEP2: 令和3年8月中旬頃
N工区: 1次造成中
S工区: 山留完了～既成杭工事中



STEP3: 令和4年1月上旬頃
N工区: 基礎躯体中
S工区: 基礎躯体完了～埋戻し中



STEP4: 令和4年5月上旬頃
地下躯体工事
N工区: 地下1階立上り
S工区: 免震上部基礎



STEP5: 令和4年10月上旬頃
上階躯体工事
3階立上り4階スラブ



STEP6: 令和5年2月中旬頃
躯体上棟～ヘリポート建方工事中



STEP7: 令和6年1月下旬頃
既設病院解体
～駐車場外構工事中

エ. 荒尾市内事業者の活用に関する提案

提案1 市内事業者とチームを組み、市内建設事業者に30億円以上発注します(税込み)

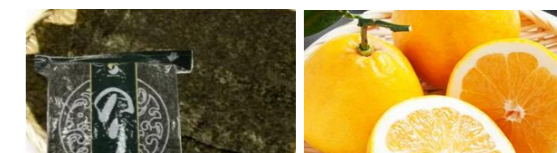
市内事業者と建設共同企業体(構成員出資比率30%)を編成し、本プロポーザルに参加します。参加にあたって、プロジェクトに係る幅広い業種について情報収集を行い、市内事業者の活用を図ります。建設共同企業体以外にも、幅広い業種で**30億円**を市内事業者に発注します。

提案2 工事作業所運営の為に事務用品、サービス等は市内事業者を100%活用します

工事作業所における印刷物や日用品の調達・その他サービス等などの利用及び職員の生活必需品については、**荒尾商工会議所会員**をはじめ、市内事業者から100%調達します。また工事期間中、工務補助・作業所事務補助として市内在住の人材を採用します。

提案3 荒尾市名産品の実食を通して、ふるさと納税のPRを社内・協力会社等に発信します

まちづくりや地域経済に貢献するため、安全大会・災害防止協議会などの集會行事において、荒尾市名産品を積極的に採用します。集會行事で荒尾市名産品を実食する機会を持ち、荒尾市名産品の魅力を伝えとともに、ふるさと納税の方法や返礼品(荒尾名産品等)の情報を発信します。また、荒尾市様の「**あらか未来プロジェクト**」に貢献できるよう、**雇用の拡大、荒尾市の魅力の発信**にご協力します。
協賛目標: 250万/年×4年 合計1,000万円



焼き海苔 (ふるさとチョイスより) 和製グレープフルーツ (楽天ふるさと納税より)

提案4 「実績報告書」毎月の現場定例にて毎回進捗を報告します

①市内事業者採用の確認

施工者購買システムに参加している各専門工事業者に発注する際、その工種への参加を希望する地元事業者の採用を要請する文書を取り交わし、受領サインを頂きます。

②実施報告のご提出

市内事業者発注金額計(毎月)を「**実績報告書**」にまとめ、**毎月の現場定例にて提出**し発注金額の履行を確認いただきます。